

国の目指す GIGAスクール構想とは

GIGAはGlobal and Innovation Gateway for Allの略で小・中学校の児童生徒1人に1台ICT端末と全国の学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子ども達に最適化された創造性を育む教育を実現するための構想。

◆1人1台端末

1人に1台端末を配布することで子ども一人ひとりの反応を把握しながら双方向の授業を展開。

◆高速大容量の通信ネットワークを整備

◆ICTを使いこなせる教職員を育成

教職員もICTを使いこなして授業をするために、各地域の指導者養成や研修の実施、ICT活用教育アドバイザーによるワークショップの全国開催、ICT支援員など企業等の多様な外部人材の活用促進を行う。

◆デジタルならではの授業

デジタル教材など良質なデジタルコンテンツの活用やICTを効果的に活用した学習活動例の提示、AIドリルなど先端技術を活用した実証を行う。



私たちの学校も タブレット授業デビュー



新型コロナウイルスの影響で、学校現場も変化が求められています。しかし、学びを止めることがあってはいけません。目まぐるしく変化し、予測困難な時代を生き抜く子ども達にとって必要な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力などの育成、学びに向かう力・人間性を育てます。そして、ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓く子どもの育成にICTを効果的に活用していきます。

びやデータを分析・活用した意見交換グループで資料・作品を制作する協働的な学習を提供し、子ども達の可能性をさらに広げられるよう現場でも奮闘が続きま。

教職員も研修を実施し、ICTの学びを進め、模索を続けながらも授業で実践。子ども達一人ひとりにあった最適な学

習を表現しやすくすることができま。そして、表現した意見をクラスで交流して考え方をたくさん知り、学びを確かめ振り返り、新しい学びにつなげるという好循環を目指します。また、さまざまな事柄を情報と結び付けてとらえ、問題を発見・解決したり、自分の考えをまとめたりするための情報を活用する力も身に付けられます。

4月から、小・中学生一人に一台タブレット端末が配布され、ICTを活用した授業が行われています。市が推進している、自分で考え、意見交換して、学びを深めるという主体的・対話的で深い学びの実現を目指す「舞ラーニング」。ICTを活用することで、自分の

ICT(情報通信技術) × 舞ラーニング

タブレット端末をサクサクと操作し、プリントの代わりにデータで自分の意見を先生に提出。先生は提出された意見の中からいくつか抽出し、前方のパネルに映しながら授業を進める。

INTERVIEW

倉梯小4年 酒井 由稀子 さん

タブレットの授業が始まって、すごく今っぽいなと思います。目が疲れるかなって思ったけど、ずっと使うんじゃないって休憩があるので私は疲れないです。タブレットを使わないときはロックがかかって使えないので、先生の話をよく聞いていると思います。ポスターとかを作る時に、できたポスターをタブレットで写して、インターネットを使ったらたくさんの人に見てもらえそうでワクワクします。



城南中 岡田 哲也 校長

タブレットの導入が始まりましたが試行錯誤が続いています。管理面では置き場所をどうするかが課題です。現在は朝に別室の保管庫から出し、教室前の棚に置いて授業ごとに出していますが、効率的ではないので、袋に入れて机の横に置こうかなど模索中です。授業では提出や管理の速さで意見を共有しやすく時間の短縮や効率化はできていると思います。しかし、これを準備する教師の研究時間などは増えているのが課題です。同じ科目を担当する違う学校の教師などで集まってどのように授業をしているのか、良い方法を共有する機会があるといいですね。



INTERVIEW

城南中1年 田辺 紗季 さん

小学校でローマ字入力やタイピングを習いましたが、タブレットは家では使っていませんでした。タブレットを使うと人の書いた答えも、ノートや黒板などと違ってすぐ提出できて共有しやすく、分かりやすいです。進みも早いなあと思います。これからは分からないことを調べたり、授業で出たことに写真を付けて皆で見たり、たくさんことができそうです。



城南中3年担任、数学担当 長谷川 宗汰 教諭

府内市町村の代表が集まり、グループでGIGAスクールを学ぶ研修会に参加。タブレットを用いてどのような授業ができるかをグループごとに動画で発表して共有しました。私のグループでは発信や表現しやすいことを発表しました。タブレットを使うことで考えを表現しやすく、作品を作ったり、解説を付けたりして、とても創造的に自己表現ができます。黒板からタブレットに代わることで生徒たちにも伝わりやすく、写真を使うなどして視覚的に意見が交換できる場所が強みだと思います。4月に導入してから使用も進み、生徒へ出した課題も想定より優れたものができて、生徒の伸びはすごいと感心します。これからの子ども達は電子媒体を使っていく世代なので、タブレットを活用した授業は大切になりますね。

